

つるがしまの図書館

令和2年度



ろん
龍ちゃん



中央図書館ロビーにて展示された脚折雨乞ミニ龍蛇

目 次

1	図書館基本コンセプト	1
2	職員	
	(1) 令和元年度職員数	2
	(2) 職員体制と所掌事務	3
3	資料数	4
4	予算	5
5	施設の概要	
	(1) 図書館施設一覧	6
	(2) 中央図書館概要	6
	(3) 中央図書館工事概要	7
6	図書館利用状況	
	(1) 令和元年度利用状況	8
	(2) 施設別・月別利用状況	9
	(3) 市町別広域利用の状況	10
7	学級講座等事業の概要	
	(1) 令和元年度事業実績	11
	(2) 令和元年度事業計画	15
8	図書館協議会	
	(1) 条例	16
	(2) 規則	16
	(3) 図書館協議会委員名簿	17
	(4) 図書館協議会の動き	17
9	図書館の歩み	18

ろん
龍 ちゃん と は

中央図書館の開館に先駆け、市民がより身近に感じられ、気軽に利用できるよう一般公募し、決定した図書館のマスコットキャラクターです。

1 図書館基本コンセプト

「鶴ヶ島を元気にする図書館」

—市民を支え、活力あるまちづくりに寄与する図書館—

I 情報発信する図書館

市の動きや、市内外で活躍する市民の情報を収集・保存し、速やかに検索、利用できる環境を整えます。

ホームページやツイッター、フェイスブックなどの活用や、市広報、図書館だより、各種の資料展示などを通じて、タイムリーで積極的な情報発信に努めます。

II 市民の課題解決に役立つ図書館

インターネットや商用データベースなどを活用した情報サービスをはじめ、就職、起業・起農・創業支援、能力開発や健康・医療など地域課題に対応する情報の整備・提供に努めるとともに、必要に応じて関係機関と情報を求める市民をつなぎ、課題解決へのお手伝いをします。

また、図書館職員のスキルアップに努め、レファレンスの充実など市民の学びにきめ細かく応えます。

III 市民の生涯学習を支える図書館

鶴ヶ島市教育振興基本計画の基本方針にある「人が学び、人が生きる社会を支える」を受けて、乳幼児から高齢者まで各世代の人たちが、気軽に利用できる図書館にします。資料の充実を図り多様な市民の学習要求に応えます。

IV 子どもの成長を支える図書館

教育振興基本計画の基本方針にある「社会に出て自立していける子どもを育てる」「地域ぐるみで子どもを育てる」を受け、心豊かな子どもたちを育むため、身近なところでおはなし会や読み聞かせを行い、本に親しむ機会を積極的に提供し、本を通じて子育てを支援していきます。

V 郷土意識を深める図書館

行政情報資料や地域資料の収集・保存は、公共図書館の大きな使命です。

現在、そして後世のために、計画的な収集とともに、保存・活用に向けて研究を進めます。

VI 市民交流・くつろぎの空間のある図書館

人と人、人と情報が出会い、図書館を拠点に様々な人たちがコミュニケーションを深め、集い、交流の場としての活用を推進していきます。

読書を楽しみながらくつろげるカフェスペースの設置など、サードプレイスとしての活用も進めます。

2 職員（令和2年4月1日現在）

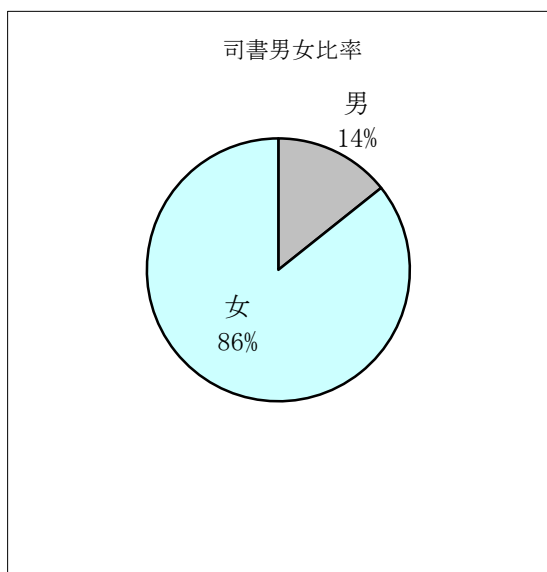
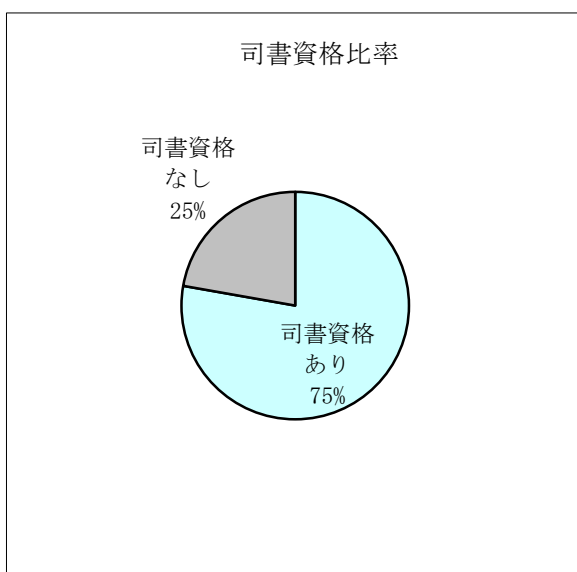
(1) 令和元年度職員数 () 内は司書資格等を有するもの

	図書館スタッフ		
	男	女	計
全館合計	5 (4)	31 (24)	36 (28)

各分室は、開館日に中央図書館から職員を派遣

司書資格あり	28
司書資格なし	8
合計	36

男	4
女	24
合計	28



(2) 職員体制と所掌事務

① 職員体制（全36人）

図書館長 — 副館長 — スタッフ34人

② 所掌事務

《庶務》

- ア 職員（一般職非常勤職員を含む）の人事、研修等の事務に関する事
- イ 文書の収受、管理に関する事
- ウ 中央図書館の施設、設備、物品等の維持管理に関する事
- エ 図書館協議会に関する事
- オ 図書館の予算の執行管理に関する事

《資料奉仕》

- ア 資料の管理（発注、受入及び廃棄）に関する事（中央図書館及び図書館全体）
- イ 図書館全体の情報管理、コンピュータ、統計に関する事
- ウ 中央図書館の書架（一般書・AV）管理に関する事
- エ 図書館利用者の奉仕に関する事
 - ・リクエスト資料に関する事
 - ・広域利用の推進に関する事
 - ・障害者サービスの推進に関する事
 - ・AVに関する事
- オ 資料のリサイクルに関する事
- カ 中央図書館のカウンター業務に関する事
- キ 図書館の講座、行事に関する事

《児童・学校》

- ア 資料の管理（発注、受入及び廃棄）に関する事（児童書）
- イ 中央図書館の書架（児童書）管理に関する事
- ウ 図書館利用者の奉仕に関する事
 - ・学校図書館との連携に関する事
- エ 中央図書館のカウンター業務（児童カウンター）に関する事
- オ 図書館（児童）の講座、行事に関する事

《レファレンス》

- ア 資料の管理（発注、受入及び廃棄）に関する事
- イ 中央図書館の書架管理に関する事
- ウ 図書館利用者の奉仕に関する事
 - ・参考調査室に関する事
 - ・郷土資料に関する事
- エ 中央図書館のカウンター業務に関する事

《分室》

- ア 分室の資料管理に関する事
- イ 分室の利用者の奉仕に関する事
- ウ 分室の施設、設備、物品等の維持管理に関する事
- エ 分室のカウンター業務に関する事
- オ 図書館の講座、行事に関する事

3 資料数

(1) 施設別資料数

(図書・紙芝居・AV資料等)

(令和2年4月1日現在)

種 別	中央図書館	分 室							計	
		東	西	南	北	富士見	大橋	計		
図 書	一般書 (冊)	219,678	7,100	11,277	11,317	5,773	17,372	15,037	67,876	287,554
	児童書 (冊)	77,350	8,986	15,063	9,887	6,687	10,462	13,836	64,921	142,271
参考資料 (郷土資料含む)(冊)		39,607 (うち地図1,556枚)	196	368	210	199	221	215	1,409	41,016 (うち地図1,556枚)
AV資料 (点)		21,805	0	0	0	0	0	0	0	21,805
紙芝居 (冊)		2,737	285	509	507	243	402	537	2,483	5,220
計		361,177 (うち地図1,556枚)	16,567	27,217	21,921	12,902	28,457	29,625	136,689	497,866 (うち地図1,556枚)

上記合計にはマイクロフィルムを含まず

(新聞・雑誌)

種 別	中央図書館	分 室							計
		東	西	南	北	富士見	大橋	計	
新 聞 (紙)	43	1	1	1	1	1	1	6	49
雑 誌 (タイトル)	213	6	7	7	6	9	7	42	255

※雑誌は、寄贈含む件数 駅前カウンター所蔵の1タイトルは中央図書館に計上

(2) 分類別資料数

(図書資料・紙芝居)

(単位：冊)

分 類	一般書	児童書	計
0 総 記	6,252	858	7,110
1 哲学・宗教	9,916	946	10,862
2 歴史・地理	25,196	7,112	32,308
3 社会科学	39,083	7,879	46,962
4 自然科学	17,769	13,995	31,764
5 工業技術	25,013	4,857	29,870
6 産 業	9,197	2,976	12,173
7 芸術・体育	36,837	6,519	43,356
8 語 学	4,909	1,970	6,879
9 文 学	113,382	44,128	157,510
紙芝居		5,220	5,220
地域・行政資料 (マイクロフィルムを含む)	26,481		26,481
絵本		50,691	50,691
参考資料	14,535		14,535
実物資料		340	340
計	328,570	147,491	476,061

(AV資料)

(単位：点)

種 別	点 数
CD	20,055
カセットテープ	1,061
ビデオテープ	53
レーザーディスク	2
DVD	634
合 計	21,805

4 予算

○令和2年度図書館費
うち資料費

71,640,000円 (前年比58.13%)
15,280,000円 (前年比0.53%)

(単位 円)

資料費内訳	令和元年度 (①)	令和2年度 (②)	対比②-①
資料購入費	15,200,000	15,280,000	0.53 %
★図書資料費	10,950,000	11,030,000	0.73 %
★視聴覚資料費	1,010,000	1,000,000	▲ 0.99 %
内訳			
CD	305,000	300,000	▲ 1.64 %
DVD	705,000	700,000	▲ 0.71 %
★新聞資料費	1,020,000	1,020,000	0.00 %
★雑誌資料費	2,220,000	2,230,000	0.45 %

* 白書、紙芝居は図書資料費から購入

* 日経テレコン、ジャパンナレッジ、ナクスミュージックライブラリー、D1-Law等データベース代は、資料費に含めていない

* 図書等装備業務委託料、装備用消耗品代は、資料費に含めていない

5 施設の概要

(1) 図書館施設一覧

名称	所在地・電話番号	開設年月	延面積 (㎡)
中央図書館	鶴ヶ島市大字高倉 1247 番地 1 271-3001	平成 8 年 10 月	4254.7
図書館東分室	鶴ヶ島市大字五味ヶ谷 202 番地 271-4655	昭和 62 年 4 月	90.75
図書館西分室	鶴ヶ島市新町四丁目 17 番地 8 271-0880	平成 8 年 9 月	227.3
図書館南分室	鶴ヶ島市大字鶴ヶ丘 375 番地 1 287-6044	昭和 60 年 4 月	149.0
図書館北分室	鶴ヶ島市大字脚折 2171 番地 1 285-5780	昭和 61 年 6 月	54.0
図書館富士見分室	鶴ヶ島市富士見五丁目 11 番 1 号 287-1662	昭和 62 年 6 月	159.8
図書館大橋分室	鶴ヶ島市大字太田ヶ谷 883 番地 286-0006	平成 3 年 7 月	199.3

(2) 中央図書館概要

(全館延床面積 4,254.70㎡)

室名	面積 (単位㎡)	
	部屋別延床面積	階別延床面積
◆ 1 F	来館者部門 玄関 286.75 一般開架貸出室 1,035.55 和室 23.57 読書室 124.94 参考資料室 214.00 グループ室 22.73 児童開架貸出室 328.14 保育室 31.71 お話コーナー 16.81 対面朗読室 17.27 事務部門 管理運営スペース 455.19 配送部門 配送書庫 102.88 車庫 74.94 保存部門 AV資料保存庫 36.58 その他 廊下等 325.43	3,096.49
◆ 2 F	来館者部門 展示室 235.58 視聴覚室 180.06 ロビー 84.54 その他 33.70 保存部門 郷土資料保管庫 33.60 保存書庫 299.70 美術品保管庫 8.48 その他 倉庫等 254.20	1,129.86
◆ 塔屋	その他 階段室 28.35	28.35

(3) 中央図書館工事概要

- ◆ 名 称／鶴ヶ島市立中央図書館 TEL 049 (271)3001 FAX 049 (271)0121
- ◆ 所 在 地／鶴ヶ島市大字高倉 1247 番地 1
- ◆ 敷 地 面 積／11,150.19㎡ (敷地外駐車場部分を除く)
- ◆ 建 築 面 積／3,430.93㎡
- ◆ 延 床 面 積／4,254.7㎡
- ◆ 構 造／RC コンクリート造地上2階建て
- ◆ 工 期／平成6年9月5日～平成8年10月30日
- ◆ 設計、監理／土屋 巖 建築設計事務所
- ◆ 施 工 業 者／

建築	古久根・初雁建設工事共同企業体
機械設備	(株)朝日工業社 北関東支店
電気設備	(株)和泉電設
家具・サイン	日本ファイリング(株)大宮営業所
内部装飾	(株)環境美術
AV機器	松下電器産業(株)
ブラインド	東洋舞台(株)
あづまや・防火貯水槽・駐車場整備等	(株)森吉工務店
自転車置場・プラントボックス整備等	初雁興業(株)
外構電気設備	(株)林電気産業
植栽その1	藤関造園
植栽その2	栄光造園
植栽その3	(有)仲丸造園
植栽その4	(株)グリーンロード
駐車場・エントランス前広場整備等	初雁興業(株)
駐車場整備等	初雁興業(株)
造園	並木造園(株)
案内標識	秩父産業(株)
職員駐車場	(有)宮本土木

◆ 総工費／(図書館関係経費を含む)

用地取得	1,035,421 千円
設計関係経費	114,655 千円
建築工事	1,180,133 千円
電気設備工事	130,749 千円
機械設備工事	345,050 千円
外構・案内標識・排水・進入路工事等	379,417 千円
備品購入経費	106,626 千円
電算化事業費	54,645 千円
図書資料購入費	439,602 千円

合 計 3,786,298 千円

◆ 財源内訳／

国庫支出金	93,600 千円
県費補助金	100,000 千円
地方債	1,502,800 千円
中央図書館建設基金	1,757,274 千円
一般財源	332,624 千円

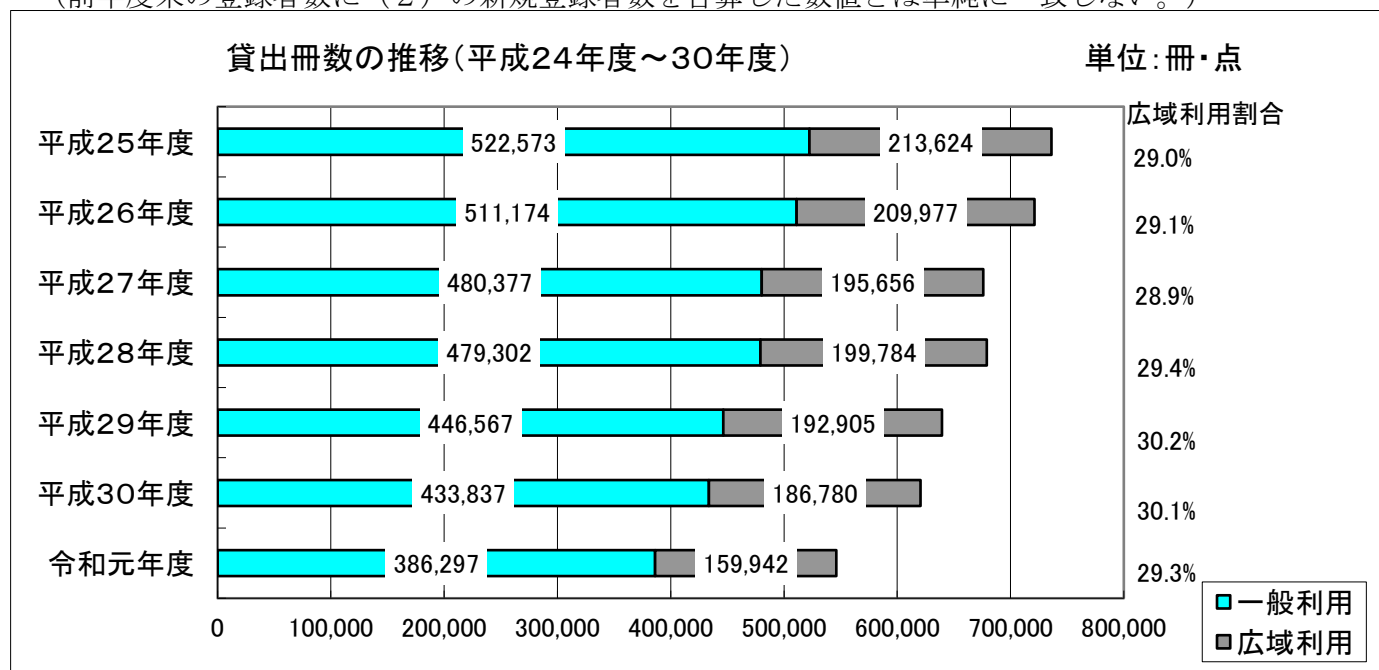
合 計 3,786,298 千円

6 図書館利用状況

(1) 令和元年度利用状況（平成30年度対比）

		開館日数 (日)	利用人数 (人)	利用冊数 (冊・点)		登録者数 (累計：人)				
				一般・団体	広域利用	一般・団体	広域利用			
中央図書館	元年度	285	72,040	339,264	219,143	120,121	80,191	43,556	36,635	
	30年度	311	81,600	384,986	246,547	138,439	79,097	43,079	36,018	
分室	東	元年度	184	6,870	25,691	18,461	7,230	3,412	2,620	792
		30年度	201	7,931	31,742	22,504	9,238	3,348	2,590	758
	西	元年度	282	7,429	28,425	24,956	3,469	3,928	3,229	699
		30年度	307	8,297	33,807	29,268	4,539	3,844	3,170	674
	南	元年度	176	8,546	30,458	27,877	2,581	5,215	4,536	679
		30年度	203	9,807	35,588	32,440	3,148	5,145	4,480	665
	北	元年度	184	4,755	18,700	16,735	1,965	2,869	2,522	347
		30年度	203	5,535	20,033	17,601	2,432	2,833	2,489	344
	富士見	元年度	184	8,605	31,948	24,177	7,771	6,834	5,717	1,117
		30年度	201	9,366	36,295	27,909	8,386	6,711	5,619	1,092
	大橋	元年度	184	7,500	26,528	20,036	6,492	6,585	4,687	1,898
		30年度	199	8,127	30,230	21,394	8,836	6,526	4,655	1,871
	計	元年度	1,194	43,705	161,750	132,242	29,508	28,843	23,311	5,532
		30年度	1,314	49,063	187,695	151,116	36,579	28,407	23,003	5,404
	若葉駅前 カウンター	元年度	322	18,144	45,225	34,912	10,313	532	406	126
		30年度	353	19,496	47,936	36,174	11,762	377	283	94
計	元年度	1,801	133,889	546,239	386,297	159,942	109,566	67,273	42,293	
	30年度	1,978	150,159	620,617	433,837	186,780	107,504	66,082	41,422	

*登録者数は、資格喪失者を除く等の調整後の実数
(前年度末の登録者数に(2)の新規登録者数を合算した数値とは単純に一致しない。)



(2) 施設別・月別利用状況（令和元年度）

（単位：日・人・冊（点））

月	中央図書館			東分室			西分室			南分室			北分室		
	日数	利用人数	利用冊数	日数	利用人数	利用冊数	日数	利用人数	利用冊数	日数	利用人数	利用冊数	日数	利用人数	利用冊数
4	26	6,482	33,923	16	651	3,547	26	606	3,157	16	784	2,699	17	421	1,665
5	28	6,377	28,909	18	626	2,082	27	635	2,201	18	813	2,766	17	414	1,679
6	26	6,708	31,213	18	682	2,456	26	700	2,657	18	813	2,852	18	485	1,803
7	27	7,288	33,980	17	749	2,759	27	798	2,776	16	741	2,611	17	451	1,753
8	28	7,830	35,890	18	744	2,734	28	880	3,396	11	545	1,916	18	548	2,224
9	21	5,433	25,688	14	500	1,710	19	498	1,817	14	669	2,364	14	355	1,342
10	26	6,613	30,242	15	548	1,957	26	676	2,558	15	776	2,677	15	383	1,436
11	27	6,043	27,777	18	547	1,952	27	609	2,255	18	808	2,876	18	412	1,582
12	24	5,685	27,329	16	534	1,866	24	583	2,241	16	773	2,867	16	358	1,489
1	25	6,300	29,070	16	606	2,140	25	665	2,486	16	797	2,972	16	419	1,611
2	26	6,642	30,882	17	623	2,194	26	708	2,532	17	915	3,336	17	474	1,940
3	1	639	4,361	1	60	294	1	71	349	1	112	522	1	35	176
計	285	72,040	339,264	184	6,870	25,691	282	7,429	28,425	176	8,546	30,458	184	4,755	18,700
新規登録	一般	853	計	一般	42	計	一般	42	計	一般	35	計	一般	18	計
	児童	252	1,105	児童	25	67	児童	43	85	児童	35	70	児童	19	37

月	富士見分室			大橋分室			若葉駅前出張所			計		
	日数	利用人数	利用冊数	日数	利用人数	利用冊数	日数	利用人数	利用冊数	延日数	利用人数	利用冊数
4	17	800	3,099	17	739	2,789	30	1,614	3,957	165	12,097	54,836
5	17	764	2,883	17	701	2,553	31	1,686	4,037	173	12,016	47,110
6	18	881	3,311	18	665	2,394	30	1,702	4,218	172	12,636	50,904
7	17	853	3,009	17	694	2,543	31	1,710	4,298	169	13,284	53,729
8	18	855	3,104	18	748	2,567	31	1,680	4,241	170	13,830	56,072
9	14	625	2,304	14	549	1,938	24	1,364	3,433	134	9,993	40,596
10	16	775	2,759	16	642	2,173	29	1,711	4,101	158	12,124	47,903
11	17	701	2,530	17	606	1,968	30	1,599	3,877	172	11,325	44,817
12	16	762	2,984	16	636	2,305	28	1,607	4,108	156	10,938	45,189
1	16	682	2,555	16	642	2,216	28	1,660	4,291	158	11,771	47,341
2	17	785	2,889	17	793	2,793	29	1,675	4,252	166	12,615	50,818
3	1	122	521	1	85	289	1	136	412	8	1,260	6,924
計	184	8,605	31,948	184	7,500	26,528	322	18,144	45,225	1,801	133,889	546,239
新規登録	一般	52	計	一般	34	計	一般	66	計	一般	1,142	計
	児童	62	114	児童	27	61	児童	89	155	児童	552	1,694

※若葉駅前出張所は、図書資料等の取次ぎのみ

(3) 市町別広域利用の状況 (令和元年度)

①登録者数

(単位：人)

図書館名	鶴ヶ島市民	川越市民	坂戸市民	日高市民	川島町民	毛呂山町民	越生町民	計
鶴ヶ島市立図書館		295	300	122	3	23	9	752
川越市立図書館	89		54	31	15	1	2	192
坂戸市立図書館	140	65		19	8	38	11	281
日高市立図書館	9	40	18		0	17	4	88
川島町立図書館	4	31	5	0		0	1	41
毛呂山町立図書館	10	18	61	23	0		47	159
越生町立図書館	1	0	9	3	0	18		31
計	253	449	447	198	26	97	74	1,544

②利用者数

(単位：人)

図書館名	鶴ヶ島市民	川越市民	坂戸市民	日高市民	川島町民	毛呂山町民	越生町民	計
鶴ヶ島市立図書館		14,442	16,496	5,388	287	700	183	37,496
川越市立図書館	10,081		3,172	1,117	874	253	8	15,505
坂戸市立図書館	7,471	2,118		859	304	867	157	11,776
日高市立図書館	266	738	736		4	387	118	2,249
川島町立図書館	64	685	198	38		5	0	990
毛呂山町立図書館	770	539	3,263	1,633	8		3,265	9,478
越生町立図書館	90	73	204	131	1	505		1,004
計	18,742	18,595	24,069	9,166	1,478	2,717	3,731	78,498

③利用冊数

(単位：冊)

図書館名	鶴ヶ島市民	川越市民	坂戸市民	日高市民	川島町民	毛呂山町民	越生町民	計
鶴ヶ島市立図書館		64,743	66,649	24,001	1,088	2,692	769	159,942
川越市立図書館	25,380		7,160	2,851	2,028	1,047	32	38,498
坂戸市立図書館	23,846	7,916		2,587	1,049	2,831	549	38,778
日高市立図書館	946	3,823	3,244		13	1,306	542	9,874
川島町立図書館	190	3,411	718	55		31	0	4,405
毛呂山町立図書館	3,071	2,560	16,891	7,704	33		14,270	44,529
越生町立図書館	438	258	819	677	3	2,244		4,439
計	53,871	82,711	95,481	37,875	4,214	10,151	16,162	300,465

*埼玉県川越都市圏まちづくり協議会（鶴ヶ島市、川越市、坂戸市、日高市、川島町、毛呂山町、越生町）による図書館広域（相互）利用は、平成9年7月1日から開始されました。

7 学級講座等事業の概要

(1) 令和元年度事業実績

事業名	延日数	会場	概要
第32回 図書館まつり	2	中央図書館	令和元年10月26日(土)、27日(日) サークルによるおはなし会・人形劇・CDコンサート・ビブリオバトル等及び本のリサイクル市を開催。 実行委員会 6回 参加団体 13団体 講座 「図書館で英語多読-ORTをつかってみよう-」 講師 酒井 邦秀 氏 (NPO 多言語多読 理事) 参加者 16人
第3回 鶴ヶ島市立 図書館を使った 調べる学習コンクール	全体期間 を概要に 記載	中央図書館 (表彰式)	調べる学習コンクールへの参加支援及び地域コンクール、 表彰式を開催。 全体期間 令和元年5月21日(火)～11月23日(土) 表彰式 令和元年11月23日(土) 応募数 73作品
鶴ヶ島ラノベクエストV	2	中央図書館	平成31年4月28日(日)～4月29日(月) 主にティーンズ層に向けたイベント。資料展示、ビブリオバトル、講座など。 ・ビブリオバトル(4月28日) 参加者 10人 ・講座「エンタメ業界を知ろう！」(4月29日) 講師 榎本 秋 氏 (作家・評論家) 鳥居 彩音 氏 (作家・編集者) 参加者 3人
保護者向け調べる 学習講座	2	中央図書館	令和元年年7月11日(木)、14日(日) 保護者向けに児童の自由研究のテーマの見つけ方・図書館を使った調べ方について学ぶ 参加者 4人(7月11日) 6人(7月14日)
おでかけ動物園	1	中央図書館	令和元年11月17日(日) 図書館敷地内の東屋と草地に埼玉県こども動物自然公園から小動物を出張してもらいふれあい体験を行う。 その後、館内で動物がテーマのおはなし会を行う。 ・おでかけ動物園 参加者 約200人 ・おはなし会 参加者 25人

障がい者アート 絵画展	1 1	中央図書館	令和元年12月11日（水）～22日（日） 障がい者によるオリジナリティ溢れ、素晴らしい感性で描かれた絵画を館内展示し、障がいに対する理解を深める機会とする。
CDコンサート	3	中央図書館	図書館所蔵のCDの中から毎回テーマを決め、音楽を楽しむ。 参加者 延べ79人
つるがしま歴史散策 ～脚折雨乞 渡御 コースを歩く～	1	中央図書館	令和元年5月31日（金） 脚折雨乞 渡御コースを解説を交えながら歩く。 講 師 鶴ヶ島市教育委員会 生涯学習スポーツ課 文化財担当職員 参加者 9人
D1-LAW 講習会	1	中央図書館	令和元年5月19日（日） 当館で導入している法情報データベース「D1-Law」の使い方を、事例を通して学ぶ。 講 師 山内 享郎 氏（第一法規株式会社） 参加者 6人
みんなで折ろうよ！ 折り紙教室	2	中央図書館	令和元年6月29日（土）、12月1日（日） 図書館スタッフが講師となり、季節の折り紙の折り方を学ぶ。 参加者 延べ23人
図書館座シネマ	3	中央図書館	館内で一般向けの16mmフィルムの映画を上映。 参加者 延べ60人
子ども図書館座 シネマ	2	中央図書館	館内で児童向けの16mmフィルムの映画を上映。 参加者 延べ14人
生物多様性の本箱	年間	中央図書館 6分室 若葉駅前 カウンター	「生物多様性の本箱」に推薦・選定された本を中央図書館及び各分室で巡回展示し、生物多様性について子どもへの理解を広める。
女性センター所蔵 図書の100冊貸出	4ヶ月	中央図書館 6分室 若葉駅前 カウンター	女性センター所蔵図書を、中央図書館及び各分室で利用者に貸出サービスを行う。

福祉施設等訪問	4	鶴ヶ島ケア ホーム	施設を訪問し、おはなし会等を実施する。
モクレンの会	3	中央図書館	学校の読み聞かせボランティア活動に参加している方を対象に、絵本の紹介や情報交換を行う。 参加者 延べ74人
パパのための 読み聞かせ講座	1	中央図書館	令和2年1月12日(日) 読み聞かせに興味があるパパを対象に読み聞かせのコツと楽しさを学ぶ 講 師 上甲 知子 氏(「絵本でほっこりの会」主宰) 参加者 22人
大人のためのおはなし会	1	中央図書館	令和2年1月29日(水) 素ばなし(ストーリーテリング)を実施する。 参加者 32人
こわーいおはなし会 &幽霊は誰だ	24	中央図書館	令和元年7月26日(金) こわーいおはなし会及び謎解きゲーム「幽霊は誰だ」を実施する。 対 象 小学生 参加者 24人
ろんちゃんクラブ	1	中央図書館	令和元年8月8日(木) 本の紹介や工作・科学あそび・クイズを実施する。 対 象 小学生(1~3年生) 参加者 20人
ブックスタート	年間	中央図書館 保健センター	赤ちゃんとその保護者に向け、本の紹介とおはなし会を実施する。4か月児健康診査では絵本を配布する。 あかちゃんおはなし会 11回 106人 4か月児健康診査 11回 383組 ゆりかご教室 4回 54人
あかちゃんタイム	11	中央図書館	赤ちゃんと保護者が気兼ねなくゆったりと図書館を利用できる時間を設け、保育士の資格を持つ育児コンシェルジュによる育児相談や、図書館スタッフによる読書相談を実施。 参加者 延べ106人 (参加者数は、あかちゃんおはなし会に合わせて実施しているため、再掲。)

子ども向け おはなし会	年間	中央図書館 及び 6分室	おはなし会等を開催する。 ぴよぴよタイム 11回 延べ 31人 中央図書館 82回 延べ 446人 東分室 43回 延べ 132人 西分室 30回 延べ 257人 南分室 85回 延べ 315人 北分室 22回 延べ 195人 富士見分室 45回 延べ 49人 大橋分室 45回 延べ 354人 ※中央図書館おはなし会内訳 日曜日 おはなし会 41回 延べ 200人 土曜日 かみしばい 20回 延べ 158人 第3土曜日 おはなしの小箱 11回 延べ 59人 第4火曜日 わらべうたの会 10回 延べ 29人
児童図書展示会	1	中央図書館	令和元年6月18日(火) 学校図書館用図書を選定する。
「よんでよんで」 発行	4	中央図書館	小学生におすすめしたい本を紹介する。
「中学生におすすめ したい本のリスト」 発行	2	中央図書館	中学生におすすめしたい本を紹介する。
「図書館だより」 発行	11	中央図書館	図書館に関する情報を提供する。 発行部数 各号 201部
推薦図書リストの 発行	1	中央図書館	夏休み期間中の小・中学生に向けた推奨図書のリスト 「みなさんにおすすめしたい本」を学校図書館関係者等と 選定して発行する。発行部数 5, 718部
学校図書館への支援	年間	中央図書館 及び6分室	児童・生徒が本に親しみ読書を楽しむ習慣づくりのため の活動を支援する。 読み聞かせ 16回 学級文庫等への団体貸出 延べ5, 118冊

(2) 令和2年度事業計画

事業名	期間	事業概要
生物多様性の本箱	年間	国連生物多様性10年日本委員会が子どもたちに向けて推薦・選定した本を展示し、生物多様性について意識を根付かせ、理解を深める。
第4回 鶴ヶ島市立図書館を使った 調べる学習コンクール	令和2年 5月27日(水)～ 11月14日(土)	調べる学習コンクールへの参加支援及び地域コンクール、表彰式の開催を行う。
鶴ヶ島ラノベクエスト	2月	ライトノベル、アニメといった文化をテーマに講演会やビブリオバトルを行い図書館利用の拡大を図る。
障がい者アート絵画展	12月	障がいをお持ちのアーティストによる作品を展示し、障がいに対する理解を深める。
モクレンの会	年3回	読書サークルや読み聞かせサークル等の活動を援助・育成するため、研修会や交流会を開催する。
第33回図書館まつり	未定	市民参加による図書館まつりを開催し、より多くの利用者に図書館や図書館資料に接する機会を提供し、図書館運営への理解及び協力と図書館利用の拡大を図る。
中央図書館展示会	年間	企画展を開催する。
学校読み聞かせボランティア 勉強会	年間	小・中学校での読み聞かせのボランティア活動を援助・育成するため開催する。
推薦図書リストの発行	7月	市内の小・中学生に向け、夏休みの推薦図書を学校と連携し発行する。
児童図書展示会	未定	市内の小・中学校の学校図書館用の資料を選定するとともに、児童書の普及に努める。
ブックスタート	年間	乳児の健やかな成長と子育てを支援するため、本に親しむきっかけづくりと本を通じた親子のコミュニケーションの形成を図る。
子ども向けおはなし会等	年間	幼児向けおはなしと本の紹介をする。
ろんちゃんクラブ	8月	本を使って工作やゲーム、おはなし会を行う。
福祉施設等訪問	年間	図書館ボランティアとともに、鶴ヶ島ケアホームを訪問し、読み聞かせ等を行う。
「図書館だより」発行	年間(毎月発行)	図書館に関する情報を提供する。
「ねえ よんで」発行	年間	乳児におすすめしたい本を紹介する。
「おひざでよんで」発行	年間	幼児におすすめしたい本を紹介する
「よんでよんで」発行	年間	小学生におすすめしたい本を紹介する。
「中学生におすすめしたい本のリスト」発行	年間	中学生におすすめしたい本を紹介する。

8 図書館協議会

(1) 条例（鶴ヶ島市立図書館条例から抜粋）

（図書館協議会）

第12条 地方自治の本旨に基づき市民の参画と協働による図書館の運営を目指すため、法第14条の規定により、図書館に鶴ヶ島市立図書館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は10人以内とし、任期は2年間とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

3 委員は、次に掲げる者の中から教育委員会が任命する。

(1) 学校教育及び社会教育の関係者並びに家庭教育の向上に資する活動を行う者

(2) 学識経験のある者

4 前項第2号に規定する者について、教育委員会は必要に応じて公募をすることができる。

(2) 規則（鶴ヶ島市立図書館規則から抜粋）

（協議会）

第31条 教育委員会は、市内の学校教育に関する団体、社会教育関係団体（社会教育法（昭和24年法律第207号）第10条に規定する社会教育関係団体をいう。）又は家庭教育の向上に資する活動を行う団体から選挙その他の方法により推薦された者を、条例第12条第3項第1号に規定する者として、鶴ヶ島市立図書館協議会（以下「協議会」という。）の委員に任命することができる。

（協議会の会長等）

第32条 協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

（協議会の会議）

第33条 協議会の会議は、会長が招集し、会長が会議の議長となる。

2 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

（協議会の庶務）

第34条 協議会の庶務は、図書館を主管する課において処理する。

(3) 図書館協議会委員名簿

(令和2年6月1日現在)

区分	氏名	役職	備考
1号委員	松田 仁		校長会
	永易 聡子		教育研究会学校図書館部会
	平木 千明		学校読み聞かせボランティア
	大宮 美由喜		鶴ヶ島みどり保育園
	佐野 知子	副会長	布絵本サークル「ロンワールド」
	千葉 敦子		おはなしびっころ
	岩谷 文博		図書館まつり実行委員長
2号委員	関 俊暢		城西大学水田記念図書館館長 城西大学薬学部教授
	横山 潔	会長	元八洲学園大学非常勤講師 元国立国会図書館専門調査員
	木村 誠次		公募

任期：平成30年10月1日～令和2年9月30日

(4) 図書館協議会の動き

年 月	図書館協議会の動き
平成 8年10月	・鶴ヶ島市立図書館協議会の設置
平成 9年11月	・「開館日、開館時間について」諮問
平成10年 9月	・「開館日、開館時間について」答申
平成11年 3月	・「鶴ヶ島市立図書館の在り方—分室の機能と規模について—」諮問
平成12年 2月	・「鶴ヶ島市立図書館の在り方—分室の機能と規模について—」中間答申
平成12年 9月	・「鶴ヶ島市立図書館の在り方—分室の機能と規模について—」答申
平成14年 6月	・「図書館及び学校図書館とボランティアについて」諮問
平成15年 9月	・「図書館及び学校図書館とボランティア」について中間答申
平成16年 9月	・「図書館及び学校図書館とボランティア」について最終答申
平成20年11月	・「鶴ヶ島市立図書館の運営のあり方について」諮問
平成22年 3月	・「鶴ヶ島市立図書館の運営のあり方について」答申
平成24年 3月	・「鶴ヶ島市子ども読書活動推進計画」審議
平成27年 3月	・「鶴ヶ島市立図書館基本構想」意見交換
令和2年 3月	・「市民を支え、活力あるまちづくりに寄与する図書館のあり方について—地域に役立つ図書館として—」提言書策定

9 図書館の歩み

市民の動き	年 月	図書館の動き
	昭和41年 4月	・ 鶴ヶ島町制施行
	11月	・ 新築鶴ヶ島公民館の2階一部が図書館となる ・ 図書館設置条例及び鶴ヶ島町立図書館設置条例施行規則も公布
・ “子どもの本の講座” 終了後、参加者が中心となり、子どもの本を考える会[たんぼぼ]が誕生	昭和46年 3月	・ 図書館業務開始
	昭和48年 1月	・ “子どもの本の講座” を始める
・ 「たんぼぼ」「青空文庫」に協力	4月	・ 団体貸出を始める（下新田中台団地の家庭文庫）
	昭和50年 5月	・ 鶴ヶ丘どんぐり公園において移動文庫「青空文庫」始める
・ 610名の署名を持ち、町長に分室設置の交渉をする	7月	
	12月	・ 「青空文庫」が、鶴ヶ島第二小学校のプレハブ教室（PTA 図書室）に移る。
	昭和52年 4月	・ 図書館、教育委員会、小・中学校図書室担当者による鶴ヶ島町図書館連絡協議会を設置 ・ “みなさんにおすすめしたい本100冊” の編集を始める
・ 読書グループ「たんぼぼ」として、どんぐり公園内の分室の貸出、読書会等のボランティアをする	7月	・ 鶴ヶ丘どんぐり公園に図書館分室が完成、図書の貸出を始める（週2回）
・ 「にじの会」町公民館で読み聞かせを始める	昭和56年 4月	
・ 「たんぼぼ」では、図書館主催の行事に参加したり、人形劇を主催する。また、図書館分室で読み聞かせを始める。	昭和57年 1月	
・ 東公民館で活動していた読書サークルが「すみれ文庫」（のちに「すみれグループ」となる）として活動を始める	昭和58年 6月	
	昭和59年 3月	・ 総合計画に“社会教育の条件整備(図書館活動の充実)”を盛り込む
・ 町内の読書サークルと文庫の「読書会連絡会」が発足	4月	
・ 「ふじみ文庫」富士見自治会の公民館内で貸出を始める	5月	・ 「としょかんだより」第1号発行
	7月	・ “夏休み理科教室” を始める
・ それぞれのサークルが右記の集會に参加	11月	・ “入間地区の社会教育を考えるつどい”「くらしの中に生きる図書館」を討議
・ 西公民館内に「ひまわり文庫」開設。貸出と読み聞かせをはじめ	昭和60年 2月	・ 鶴ヶ島町立図書館条例改正
	4月	・ 鶴ヶ島町立図書館を鶴ヶ島町立中央図書館に改称 ・ 図書館分室が南公民館新築に伴い移転し鶴ヶ島町立図書館南分室となる（絵本の主題別配架始める）
・ それぞれのサークルが右記の集會に実行委員として参加	10月	・ “鶴ヶ島町制施行20周年記念、第1回鶴ヶ島町図書館まつり”を開催（中心館：南公民館）

市民の動き	年 月	図書館の動き
<ul style="list-style-type: none"> “第1回鶴ヶ島の社会教育を考えるつどい”で「図書館を考える会」設立を確認 	12月	<ul style="list-style-type: none"> “第1回鶴ヶ島の社会教育を考えるつどい”開催（第2分科会で「くらしの中の図書館」を討議 図書館南分室の第1・3日曜日の午後も貸出を始める “文学講座”始める
<ul style="list-style-type: none"> “鶴ヶ島の図書館を考える会”（以下“考える会”という）設立総会 “鶴ヶ島の図書館を考える会ニュース”第1号発行 “図書館員と語る会”を開催 	昭和61年 5月	
	6月	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館、新築の北公民館に移転
<ul style="list-style-type: none"> 各サークル“図書館まつり”の実行委員会に参加 “町長と教育長と語る会”を開催 住民及び住民運動団体、右記の集會に参加 	10月	<ul style="list-style-type: none"> “第2回鶴ヶ島町立図書館まつり”開催（中心館：北公民館）
	11月	
	昭和62年 2月	<ul style="list-style-type: none"> “第2回鶴ヶ島の社会教育を考えるつどい”開催（第2分科会で「くらしの中の図書館」を討議
	3月	<ul style="list-style-type: none"> 『鶴ヶ島の図書館計画1987-図書館サービス網と中央図書館建設の計画』作成
<ul style="list-style-type: none"> 「すみれグループ」解散。今までの読書会を「あじさい読書会」として続ける 第2回“考える会”開催 「ふじみ文庫」閉庫。その後、子供の本を楽しむ会「ポッポ」として富士見分室で読み聞かせをする 「おはなしのへや」東分室にて読み聞かせの活動を始める “考える会”要望書提出 川鶴地区で「麦っ子ぶんこ」活動を始める “図書館員と語る会”を開催 	4月	<ul style="list-style-type: none"> 東公民館内に東分室開設
	5月	
	6月	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館、新築の富士見公民館に移転
	7月	
	8月	
	9月	
	10月	<ul style="list-style-type: none"> “第3回鶴ヶ島町立図書館まつり”開催（中心館：富士見公民館）
	11月	<ul style="list-style-type: none"> 「図書館計画PRリーフレットNo.1」（図書館概要パンフレット）作成 “図書館を知る講座”開催
<ul style="list-style-type: none"> 住民及び住民運動団体、右記の集會に参加 “考える会”、“町長、教育長と語る会”開催 	昭和63年 1月	<ul style="list-style-type: none"> “第1回鶴ヶ島町の子どもを考えるつどい”開催
	2月	<ul style="list-style-type: none"> “第3回鶴ヶ島の社会教育を考えるつどい”開催（第2分科会で「くらしの中の図書館」を討議
<ul style="list-style-type: none"> “図書館員を困む会”開催 第3回“考える会”総会 “図書館員と語る会”を開催 “考える会”が町長、教育長、図書館長に要望書提出 	4月	<ul style="list-style-type: none"> 鶴ヶ島町中央図書館建設委員会条例施行 建設委員会委員10名委嘱
	5月	
	6月	
	7月	
	10月	<ul style="list-style-type: none"> 図書資料にバーコードを貼付する “第2回鶴ヶ島町の子どもを考えるつどい”開催 “第4回鶴ヶ島町立図書館まつり”開催（中心館：東公民館）

市民の動き	年 月	図書館の動き
<ul style="list-style-type: none"> 第4回“考える会”総会 「要望書を持って町長と話そう」を開催 「図書館長と語る会」を開催 “考える会”「鶴ヶ島の図書館についてのアンケート」調査実施 「図書館長に聞く」を開催 町長、教育長に建設委員会存続の請願署名（3,167名）を渡す 「ひまわり文庫」“図書館分室設置と専門職配置”の要望書提出 第5回“考える会”総会 “考える会”「中央図書館建設・委員会再開等の要望書」提出 「麦っ子ぶんこ」“大橋分室に関する要望書”提出 「麦っ子ぶんこ」閉庫 第6回“考える会”総会 “考える会”「中央図書館建設に関する要望書」を町長、教育長に提出 “考える会”中央図書館建設委員会存続を訴えて請願書と2,257名の署名を町議会議長に提出 おはなしボランティア「おはなしかい ひつじ」（北分室）発足 	平成 元年 2月	<ul style="list-style-type: none"> “第4回鶴ヶ島の社会教育を考えるつどい”開催（第2分科会で「くらしの中の図書館～建設委員と話そう～」を討議
	4月	<ul style="list-style-type: none"> 建設委員会委員5名を委嘱
	5月	<ul style="list-style-type: none"> 建設委員会「第1回報告書 くらしの中に生きる図書館～鶴ヶ島中央図書館のめざすもの～」を教育長に提出
	6月	<ul style="list-style-type: none"> 図書館開館時間の延長（午前10時～午後6時） 「第1回報告書 くらしの中に生きる図書館～鶴ヶ島中央図書館のめざすもの～」発行
	7月	
	10月	<ul style="list-style-type: none"> “第5回鶴ヶ島町立図書館まつり”開催（中心館：南公民館）
	11月	<ul style="list-style-type: none"> “第3回鶴ヶ島町の子どもを考えるつどい”開催
	12月	<ul style="list-style-type: none"> 建設委員会『第2回報告書 くらしの中に生きる図書館～中央図書館の機能、位置、規模～』を教育長に提出
	平成 2年 1月	
	3月	<ul style="list-style-type: none"> 建設委員会『第2回報告書 くらしの中に生きる図書館～中央図書館の機能、位置、規模～』発行 鶴ヶ島町中央図書館建設委員会凍結
	5月	
	7月	<ul style="list-style-type: none"> 図書館開館日の一部変更（富士見・北分室の開館日増）
9月		
10月	<ul style="list-style-type: none"> “第6回鶴ヶ島町立図書館まつり”開催（中心館：富士見公民館） 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> “第4回鶴ヶ島町の子どもを考えるつどい”開催 	
平成 3年 2月		
4月		
5月		
7月	<ul style="list-style-type: none"> 図書館開館日の一部変更 新築の大橋公民館に大橋分室が開館し、図書の貸出を始める 	
8月		
9月	<ul style="list-style-type: none"> 市制施行 中央図書館建設委員会条例廃止 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> “第7回鶴ヶ島町立図書館まつり”開催（中心館：大橋公民館） 	

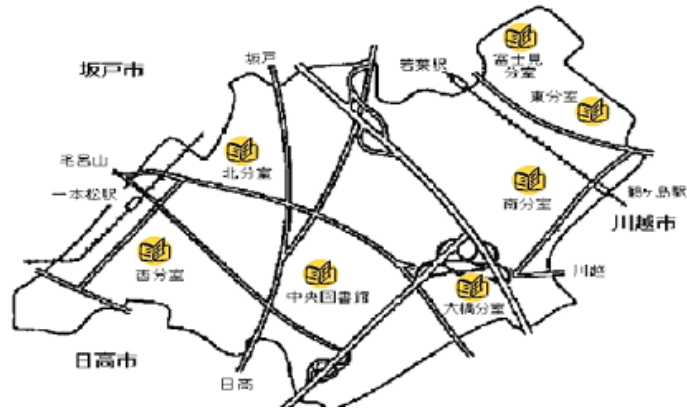
市民の動き	年 月	図書館の動き
<ul style="list-style-type: none"> 第7回“考える会”総会 “考える会”が要望書提出 	平成 4年 5月 7月 10月	<ul style="list-style-type: none"> 図書館開館日の一部変更（大橋分室開館日増） “第8回鶴ヶ島市立図書館まつり”開催（中心館：南公民館）
<ul style="list-style-type: none"> “考える会”が「中央図書館建設計画の策定に関する要望書」を提出 第8回“考える会”総会 	平成 5年 1月 5月 6月 10月	<ul style="list-style-type: none"> 図書館開館日の全面変更（土曜日全館開館、開館時間午前10時～午後4時半に短縮）、貸出冊数を3冊から5冊に増加する。 鶴ヶ島市立中央図書館及び（仮称）鶴ヶ島市立市民文化ホール建設基本構想策定 “絵本講座”始める
<ul style="list-style-type: none"> 市民懇談会委員意見書（第1回）教育長に提出 	平成 6年 1月 3月 4月 7月 8月 9月	<ul style="list-style-type: none"> 鶴ヶ島市立中央図書館建設基本構想及び（仮称）鶴ヶ島市立市民文化ホールの見直しに伴う基本方針を策定 鶴ヶ島市立中央図書館実施設計 鶴ヶ島市立中央図書館開設準備室設置 鶴ヶ島市立中央図書館用地取得 鶴ヶ島市図書館市民懇談会委員委嘱（24名） 鶴ヶ島市立中央図書館建設工事着工
<ul style="list-style-type: none"> 市民懇談会委員意見書（第2回）教育長に提出 	平成 7年 3月 5月 8月 9月 12月	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館建設工事現場フェンスペイント事業実施 追加用地取得、外構工事着工 中央図書館電算化に伴い図書マーク決定 鶴ヶ島市立図書館コンピュータシステム導入委員会設置
<ul style="list-style-type: none"> 市民懇談会委員、アンケート作業に協力 市民懇談会委員意見書（第2回）教育長に提出 	平成 8年 1月 2月 3月 4月	<ul style="list-style-type: none"> 市内学校等に図書館利用に関するアンケート実施 コンピュータシステム決定 中央図書館建設工事竣工 鶴ヶ島市立中央図書館開設準備室廃止 中央図書館開館準備開始（中央図書館事務統合） 鶴ヶ島市立中央図書館開館記念行事、第9回図書館まつり実行委員会発足
<ul style="list-style-type: none"> 市民懇談会委員意見書（第3回）教育長に提出 	5月 6月	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータシステム稼動（分室オンライン化） 分室開館時間延長（午後5時まで） 鶴ヶ島市立図書館設置条例及び鶴ヶ島市立図書館運営規則全部改正
<ul style="list-style-type: none"> 「ひまわり文庫」閉庫 「鶴ヶ島本の森を育てよう会」発足 	7月 9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> 西分室開館記念行事実行委員会発足 図書館利用者1万人作戦実施 鶴ヶ島市立図書館西分室開館 鶴ヶ島市立中央図書館開館 中央図書館開館記念行事、第9回図書館まつり開催（本のリサイクル市を初開催、以後図書館まつり時等に開催） 貸出冊数増加（5冊から10冊へ） 鶴ヶ島市立図書館条例及び鶴ヶ島市立図書館規則施行 鶴ヶ島市立図書館協議会の設置

市民の動き	年 月	図書館の動き
・ 市民懇談会委員要望書を提出	11月	
・ おはなしボランティア「おはなしの森」(中央図書館) 発足	平成 9年 4月	・ 図書館開館日一部変更(西分室 日曜日開館)
	7月	・ 川越都市圏内公立図書館相互利用開始
	10月	・ 第10回図書館まつり開催
	11月	・ 図書館協議会へ諮問(開館日、開館時間について)
	平成10年 3月	・ 図書等貸出数100万冊(点)を超える
・ 「市民と図書館員の集い第11回埼玉集会」 鶴ヶ島市立中央図書館で開催	5月	
	7月	・ 図書館開館日一部変更(南分室 金曜日開館)
	9月	・ 図書館協議会から答申(開館日、開館時間について)
	10月	・ 中央図書館入館者数50万人を超える
		・ 第11回図書館まつり開催
	平成11年 1月	・ 鶴ヶ島市西公民館等整備検討委員会設置(西分室併設)
	2月	・ 鶴ヶ島市東公民館施設改善検討委員会設置(東分室設置)
		・ 図書館長を全国公募
・ 「学校図書館を考えるさいたまネットワーク第2回研修会」を中央図書館で開催	3月	・ 障害者サービス開始
		・ 図書館協議会へ諮問(鶴ヶ島市立図書館の在り方一分室機能と規模について一)
	10月	・ 第12回図書館まつり開催
	平成12年 2月	・ 図書館協議会から中間答申(鶴ヶ島市立図書館の在り方一分室機能と規模について一)
		・ ケアホーム訪問(読み聞かせ、歌など)開始
	3月	・ 鶴ヶ島市西公民館等整備基本構想策定(西分室併設)
・ 朗読ボランティア「姫りんご」発足	6月	・ 中央図書館入館者数100万人を超える
		・ 学校図書館との連携開始(モデル校: 鶴ヶ島第二小学校)
	9月	・ 図書館協議会から答申(鶴ヶ島市立図書館の在り方一分室機能と規模について一)
	11月	・ 第13回図書館まつり開催
・ 「中央図書館に喫茶室をつくる会」 要望書提出	平成13年 4月	
・ 「鶴ヶ島・図書館利用者の会」 発足		
・ 布絵本サークル「ロンロン」 発足	10月	・ 図書館コンピュータシステムの更新
・ 文学サークル「青葉の会」 発足		・ 第14回図書館まつり開催
・ 紙芝居ボランティア「かみしばいの会」 中央図書館で活動開始	11月	・ 開館日の増加(土日と重なる祝日の開館)
	平成14年 4月	・ ブックスタート開始
		・ 学校図書館との連携強化(モデル校: 藤小学校)
	5月	・ 赤ちゃんおはなし会開始
	6月	・ 図書館協議会へ諮問(「図書館及び学校図書館とボランティア」について)
	9月	・ 布絵本の貸出開始
	11月	・ 第15回図書館まつり開催
	12月	・ つるがしま郷学の森内西分室開館
	平成15年 1月	・ 中央図書館入館者数200万人超える
	4月	・ 学校図書館との連携強化(モデル校: 鶴ヶ島第一小学校)
		・ 「子どもの読書活動優秀実践図書館」 文部科学大臣賞の受賞

市民の動き	年 月	図書館の動き
・ 児童文学サークル「スター★ガール」発足	7月	・ ビジネス支援コーナーの設置
	9月	・ ろんちゃんクラブ開始（小学生向けに本を使った工作、ゲーム、おはなし会等）
・ 「鶴ヶ島・本の森友の会」発足 （「本の森を育てよう会」と「図書館利用者の会」等の統合）	10月	・ 図書館協議会から中間答申（「図書館及び学校図書館とボランティア」について）
	11月	・ 第16回図書館まつり開催
・ 原書で読む「ペーパーバック」発足	平成16年 3月	・ DVD資料の貸出開始
・ 語りのサークル「ぴっころ」（中央図書館）発足	10月	・ 第17回図書館まつり開催
・ 布絵本サークル「ロンワールド」発足	12月	・ 「図書館だより」1000号発行
・ おはなしボランティア「ポケット」（東分室） 発足	平成17年 4月	・ 開館時間30分拡大 → 開館時間9:30~18:00
	7月	・ 「図書館ボランティア」公募開始
	10月	・ 市役所（IT推進室）一括管理による光ケーブルへ移行
・ 語りのサークル「ぴっころ」が中央図書館で「おはなしの小箱」としておはなし会の活動開始	平成18年 4月	・ 市民活動推進センターでの図書資料等の受取、返却業務開始
	9月	・ 第18回図書館まつり開催
・ 素ばなしの会開始（隔月最終土曜日）	平成19年 3月	・ 中央図書館の開館日の増加（月曜日以外の平日の国民の休日開館）
	9月	・ 広域利用者への利用サービス拡大（学習室、キャレルデスク）
・ 城西大学と相互利用開始	10月	・ 電話による予約・リクエストの受付開始
	平成20年 4月	・ 予約・リクエストの取置き期間を1週間に短縮
・ 女性センター図書館との連携開始 （中央・南・西で貸出、返却。センターの本を各図書館へ返却）	10月	・ 第19回図書館まつり開催
	11月	・ 図書館コンピュータシステム（ハードウェア）の更新
・ 分室の開館日の増加（月曜日以外の平日の国民の休日開館）	平成19年 3月	・ 素ばなしの会開始（隔月最終土曜日）
	9月	・ 城西大学と相互利用開始
・ 第20回図書館まつり開催	10月	・ 第20回図書館まつり開催
	平成20年 4月	・ 女性センター図書館との連携開始 （中央・南・西で貸出、返却。センターの本を各図書館へ返却）
・ 第21回図書館まつり開催	11月	・ 分室の開館日の増加（月曜日以外の平日の国民の休日開館）
	平成21年 1月	・ 第21回図書館まつり開催
・ 広域利用者への利用サービス拡大（AV資料の館内視聴）	1月	・ 広域利用者への利用サービス拡大（AV資料の館内視聴）
	4月	・ キャレルデスクにパソコン専用席を設置
・ 第22回図書館まつり開催	10月	・ 第22回図書館まつり開催
	平成22年 4月	・ 中央図書館の開館日の増加（月曜日と重なる国民の休日の開館）
・ AV資料の広域貸出（DVD除く）を開始	10月	・ AV資料の広域貸出（DVD除く）を開始
	11月	・ 第23回図書館まつり開催
・ 参考資料室にインターネット閲覧用パソコン2台	11月	・ 第23回図書館まつり開催
		・ 参考資料室にインターネット閲覧用パソコン2台

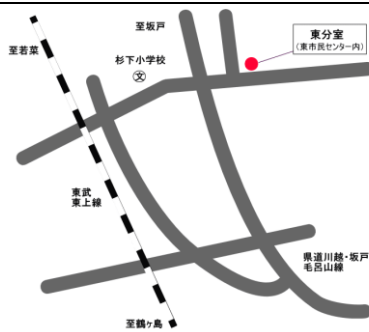
市民の動き	年 月	図書館の動き
		を設置
	平成23年10月	<ul style="list-style-type: none"> 無線LANのアクセスポイントを設置 第24回図書館まつり開催
	12月	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館の12月28日の特別開館を試行
	平成24年10月	<ul style="list-style-type: none"> 第25回図書館まつり開催
	平成25年1月	<ul style="list-style-type: none"> AV資料貸出点数変更2点→3点 予約・回送点数の制限開始→10点 長期未返却、弁償未済利用者への貸出制限の開始 OPAC、WebOPACから雑誌の予約開始 連続巻の予約・回送点数の制限開始→5点 WebOPACからのAV資料の予約開始（市内のみ）
・ 紙芝居ボランティア「ピクチャー・カード」（中央図書館）発足	平成25年4月	<ul style="list-style-type: none"> フロント業務等の委託を実施 6分室の日曜日開館を実施 ブックスタートでお薦め本2冊を配布開始
	9月	<ul style="list-style-type: none"> 第26回図書館まつり開催
・ わらべうたのサークル「わらべうたの会」（中央図書館）発足	平成26年1月	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館であかちゃんタイムを実施
	4月	<ul style="list-style-type: none"> 小学校での「読書へのアニメーション」の取り組み開始
	5月	
	7月	
・ おはなし勉強会「わたげ塾」（中央図書館）発足	9月	<ul style="list-style-type: none"> 第27回図書館まつり開催
	12月	<ul style="list-style-type: none"> ホームページリニューアル
・ おはなし勉強会「わたげの会」発足	平成27年4月	<ul style="list-style-type: none"> 鶴ヶ島ラノバクエスト開催
・ おはなし勉強会「おはなしたんぽぽ」発足		
	6月	<ul style="list-style-type: none"> 布絵本の広域貸出開始
	9月	<ul style="list-style-type: none"> 第28回図書館まつり開催
・ 「鶴ヶ島・本の森友の会」解散	平成28年3月	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度の導入 西分室の開館日拡大 火曜日～日曜日開館 商業施設「ワカバウオーク」の市民活動推進センター内に、図書の貸出・返却・利用者登録などのサービスを行う「若葉駅前カウンター」を設置 開館時間拡大 <ul style="list-style-type: none"> 中央館 午前9時～午後7時 分室 午前9時～午後5時 若葉駅前カウンター 午前9時～午後9時 中央館の月末整理休館日を廃止 図書館システムサーバをクラウドサーバに移行 市役所庁舎にブックポストを設置 書籍消毒機「ハッピークリーン」導入 AVコーナー視聴覚ブースを改修し、ICTコーナーとして運用開始 館内利用のタブレット端末のサービス開始 <ul style="list-style-type: none"> （「デジタルえほん」、「ナクソスミュージックライブラリー」、「TOOL-iS」、DVD視聴、インターネット利用） AV資料（DVD）の広域貸出開始
	4月	
	6月	<ul style="list-style-type: none"> 座席管理システム導入 タブレット端末でオンラインデータベース「ジャ

市民の動き	年 月	図書館の動き
		パンナレッジ」、「日経テレコン 21」の利用サービス開始
	9月	・ 第29回図書館まつり開催
	11月	・ 第1回障がい者アート絵画展開催
平成29年	6月	・ 図書館施設利用料金変更
	8月	・ 図書館ホームページバージョンアップ 1. 資料予約方法がカート式に変更 2. 検索した本の表紙の画像を表示 3. スマートフォン専用の検索ページ開設 4. セット予約機能の追加 5. 資料の貸出延長機能の追加
	9月	・ 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス開始 ・ タブレット端末でオンラインデータベース「D1-Law」の利用サービス開始 ・ 鶴ヶ島ラノベクエスト開催
	11月	・ 第30回図書館まつり開催 ・ 第2回障がい者アート絵画展開催
平成30年	4月	・ 鶴ヶ島ラノベクエスト開催
	9月	・ 第31回図書館まつり開催
	12月	・ 第3回障がい者アート絵画展開催
	令和元年 4月	・ 鶴ヶ島ラノベクエスト開催
	10月	・ 第32回図書館まつり開催
	12月	・ 第4回障がい者アート絵画展開催
令和2年	3月	・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館



鶴ヶ島市高倉 1247 番地 1
TEL 049-271-3001

開館日・開館時間
火曜日～日曜日
午前 9 時～午後 7 時



(東市民センター内)
鶴ヶ島市五味ヶ谷 202 番地
TEL 049-271-4665
開館日・開館時間
水・金・土・日曜日
午前 9 時～午後 5 時



(西市民センター内)
鶴ヶ島市新町四丁目 17 番地 8
TEL 049-287-0880
開館日・開館時間
火曜日～日曜日
午前 9 時～午後 5 時



(南市民センター内)
鶴ヶ島市鶴ヶ丘 375 番地 1
TEL 049-287-6044
開館日・開館時間
水・金・土・日曜日
午前 9 時～午後 5 時



(北市民センター内)
鶴ヶ島市脚折 2171 番地 1
TEL 049-285-5780
開館日・開館時間
火・金・土・日曜日
午前 9 時～午後 5 時



(富士見市民センター内)
鶴ヶ島市富士見五丁目 11 番 1 号
TEL 049-287-1662
開館日・開館時間
火・木・土・日曜日
午前 9 時～午後 5 時



(大橋市民センター内)
鶴ヶ島市太田ヶ谷 883 番地
TEL 049-286-0006
開館日・開館時間
火・木・土・日曜日
午前 9 時～午後 5 時